

平成29年度 福井県立金津高等学校 学校関係者評価書

協議題

- ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
- ・成果と課題を踏まえた今後の改善策、向上策が適切かどうか。
- ・その他

御意見を伺った方々

学校関係者評価委員会：あわら市教育長（本校育成会代表）、芦原中学校長、金津中学校長
地域住民代表、同窓会長、PTA会長、PTA副会長、学校長

御意見

◇学習指導・地域連携（中高一貫）

- ・連携中高一貫教育の中学校教員の評価が低い理由は、設立当初を知る教員が減り、今行っている事業のことが現在の教員に十分理解されていなかったり、中高の会議で連携不足のところがあったりするからではないか。現在の取り組みを検証し、これからのことについて話し合う機会も増やしてほしい。
- ・生徒数の減少に伴い、中高一貫クラスの生徒確保が難しくなっている。学力維持の観点から無理な募集は行うべきではないと考える。
- ・福井型中高一貫教育の制度を変えることはできないのか。2年生になってからの文理分けに伴う人数確保やあわら市のバックアップもあるので、変えることが難しい点もあるが、県の教育委員会には現状を伝えている。
- ・「働き方改革」をしていく必要もあるが、教員として生徒に対して熱意をもって指導にあたってほしい。

◇生徒指導

- ・不登校生はいるのか。
- ・生徒へのいじめアンケートはあるのか。
- ・池田中学校の例ではないが、教員と生徒とのトラブルがないかしっかり見守るしくみがあったらいいのではないか。
- ・スマホに関しての使用規則はあるのか。
- ・スマホ関係でトラブルや問題はあるのか。

◇進路指導

- ・2年生の土曜講座に対する評価が低くなっている理由は、講座を公欠で休む生徒が多く、受けた講座の回数が少ないため、学力向上につながっている実感がわからないのではないかと考えている。
- ・難関大学がすべてではないが、目指す生徒が増えてほしい。1人で目指すのではなく、何人かが目指す集団を作り上げていきたい。
- ・現3年生の進路状況はどうか。

◇保健管理

- ・整理整頓ができていないか家庭でのしつけの問題ではないか。
- ・1年生は健康管理ができていなくて普通ではないか。

◇開かれた学校づくり

- ・ホームページやPTAだよりで本校の活動の様子がわからないと答えている人たちは、「見ていてわからないのか」「見ていないからわからないのか」このアンケートではわからないので、まずは見ているかどうか質問した方がいい。見ていないのであれば、見ていただく方策が必要である。

◇図書指導

- ・本を読むのは大事である。スマホで見たものは記憶に残らないが、本や紙で見たものは記憶に残るので、朝読書は続けてほしい。

◇全体（総括）

- ・学校評価書の成果と課題およびそれらを踏まえた今後の改善策、向上策は適切である。
- ・保護者も教員に求めすぎのところがあるのではないだろうか。
- ・「小学校出前授業」などは、ああいう高校生になりたいという小学生への刺激にもなっている。また、国公立大学の合格数や野球部など部活動の活躍を見て、現中学3年生で金津高校志望者は増えている。

◇学校関係者評価を踏まえた今後について

- ・今年度の学校評価の結果および学校関係者評価に基づき今後の課題について改善・工夫を行い、次年度のスクールプラン、教育方針・教育目標に活かしていく。